

掛川市立千浜小学校



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月26日(木)

掛川市立千浜小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

土器が時代とともに薄くなるなど進化している様子が分かりました。また、土器の作り方を考える想像力がすごいと思いました。それが今でも役に立っている便利なものとなっていることに感心しました。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

石で野菜を切れることを、最初はあまり信じていませんでした。でも実際にやってみると本当に切れてびっくりしました。実際に体験してみることの大切さを感じました。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

今は当たり前に使っている火ですが、昔の人の火起こしは準備も大変だし火を起こすのにもすごく苦労することがわかりました。火のありがたみを実感しました。大変でしたが、実際に火をつけることができた時はとてもうれしかったです。



<先生方の感想>

教科書で学習した内容について、実際に見て、触れて、体験することで、さらに学びを深めることができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。歴史の内容に興味をもってくれる児童が増えてくれたら嬉しいです。

